飲食、生産者、宿泊、観光関係事業者の皆様へ

令和８年度『日本の美食街道』視察＆フォーラム＆交流会のご案内

～ごあいさつ～

観光庁の発表によると、2025 年度の訪日外国人観光客数は 4,268 万人、旅行消費額は 9.5 兆円と伸び、訪日客の旅行目的の１位は「日本食・食文化体験」が挙げられています。

「天下の台所・大阪」「食の聖地 丹波篠山」「食の源流 能勢」「食の交易港 舞鶴」は「日本の美食街道」として、日本の食文化を軸に、歴史、文化、景観が織りなすガストロノミーツーリズムに相応しい魅力を磨き上げ、日本へ訪れる本物志向の外国人観光客の広域周遊を促す「人流」と「商流」による賑わい創出を目的とする事業です。

大阪エリアにおける宿泊滞在日数延長や飲食体験価値の向上にも貢献する取組として、「日本の美食街道」の魅力を体験する視察＆フォーラム＆交流会にぜひご参加ください。

～イベントご案内～

□ 日　程：令和８年 11 月 25 日（水）

09：30　大阪駅（周辺）から貸切バスにて丹波篠山市へ出発

11：00～　丹波伝統工芸公園陶の郷到着、「丹波焼」陶芸作家との交流

12：00～　「丹波茶」畑視察　試飲や PR

12：30～　丹波たぶち農場にて特別栽培米「農都のめぐみ米」や地元食材試食

13：40　丹波篠山市民センター

- 基調講演
- 特別講演
- 日本の美食街道サミット
- 意見交換会・商談会

16：30　大阪へのバス出発～大阪駅周辺に到着、解散

（到着は 18 時頃を予定していますが道路状況により前後します）

□ 定　員：大阪発着バス 50 名様（定員に達し次第、受付終了します）

現地参加 50 名様（丹波篠山市、舞鶴市、能勢町の生産者や観光関連事業者）

□ 参加費：無料（貸切バス乗車代、現地視察・試食費、交流会参加費など主催者負担）

□ 集合場所：申込サイトにていずれかお選び下さい

①JR 大阪駅周辺 09：20 集合　②JR 篠山口駅西口ロータリー12：00 集合

③丹波篠山市民センター（多目的ホール）13：30 集合

（裏面もご覧ください）

～基調講演・パネルディスカッション～



溝畑 宏 氏　　中井 建 氏　　酒井 隆明 氏　　鴨田 秋津 氏　　岡田 正文 氏

□ 基調講演（13：40～）「2030 年を見据えた日本再生・地方創生・観光立国について」
~日本の美食街道構想と広域観光のポテンシャル~
講師：溝畑 宏 氏　（公財）大阪観光局　理事長

□ 特別講演（14：00～）「街道が繋いだ食の記憶と未来」
講師：中井 建 氏　（公財）大阪観光局 大阪観光アドバイザー（食分野）
能勢日本料理 新 店主

□ パネルディスカッション（14：30～）　「日本の美食街道のこれから」
登壇者：酒井 隆明 氏　兵庫県丹波篠山市長
鴨田 秋津 氏　京都府舞鶴市長
岡田 正文 氏　大阪府能勢町長
中井 建　氏　（公財）大阪観光局 大阪観光アドバイザー（食分野）
ファシリテーター：溝畑 宏 氏　（公財）大阪観光局理事長

□ 意見交換会・商談会（15：15～）
能勢日本料理 新 中井氏による「美食街道の逸品」の試食をはじめ地域の
産品を囲んで、参加者や主催者の交流の機会をご用意しています。

～お申込み・お問い合わせ先～

1. お申込み
下記 QR コードまたは URL からお申し込みください。
https://forms.gle/hDnYp37WHzWJszHE6

2. お問い合わせ先
「日本の美食街道」連携事業事務局　（平日 09：00～17：00）
丹波篠山市 観光交流部 商工観光課　担当：東田、細見
TEL：079-552-6907　メール：kanko_div@city.sasayama.hyogo.jp
住所：〒669-2397　兵庫県丹波篠山市北新町 41

『美食』の経験価値を提供する

～ 美食街道のルート ～

大阪（都市）ー能勢（里山）ー丹波篠山（食文化の核）ー舞鶴（海）







食の交易港
舞鶴市

食の聖地
丹波篠山市





食の源流
能勢町

食の都
天下の台所
大阪



❒モデル：エミリア街道＝「美食街道」ボローニャ～パルマ間

イタリア北部のエミリア街道は全長およそ270キロメートル
～　食材の宝庫・北イタリアの街々が連なり美食街道と呼ばれる

・ボローニャはイタリア有数の交通の要衝とされる街、紀元前に建設されたボローニャは中世、交易の中心都市として発展。ヨーロッパ最古の学び舎「ボローニャ大学」はガリレオ・ガリレイ、ダンテ、コペルニクスなど多くの偉人を輩出した大学都市。

・イタリアの主食パスタ。その種類は600以上あると言われ、街や地域ごとに様々なパスタ料理が生まれ、ボローニャは、スパゲティボロネーゼが生まれた街でもある。



・パルマは、ミラノとボローニャの中間に位置するパルマ県の県都。イタリアを代表する指揮者トスカニーニが生まれ、また椿姫などのオペラの傑作を生んだ作曲家ヴェルディの故郷で、町にはヨーロッパ最古の劇場やオペラの殿堂、教会や博物館に加え、多くのエレガントな建造物は芸術の街にふさわしい様相。

・イタリアの食はパルマにあり、と言われ、特に、チーズの王様、パルミジャーノ・レッジャーノ（パルメザンチーズ）、香り高いバラ色の生ハム、プロシュット・ディ・パルマは、世界に誇る超有名食材。

「美食街道」構想　＝『美食』経験価値の提供

❑美食街道のキーワード
食材の宝庫、交通の要衝、交易の中心、芸術文化が生まれた街、市民の誇り、
遺産、名物、ブランド産品がある　など

「美食街道」のキーワードとの共通点



☆食材の宝庫、主食や文化が生まれたまち

❑大阪・・良質かつ新鮮な食材に恵まれた地の利に加え、
諸国の台所として長きにわたり市場流通の拠点を担う

❑舞鶴・・日本海側有数の漁場、天然の良港を有し、舞鶴かに、
牡蠣、都まぐろ、京鰆等のブランド海産物を有する。



☆芸術、文化、遺産、市民の誇り

❑大阪・・笑いや文楽、能に代表される上方文化、東京の
“官都”に対し、大阪は経済が栄える“民都”で、大大阪時代は
ボランティアや寄付でインフラを整備してきた歴史

❑舞鶴・・日本遺産、日本イコモス日本の20世紀遺産20選に
認定される海軍ゆかり、ユネスコ世界記憶遺産登録資料を
有する引揚、関ヶ原の戦いの前哨戦である田辺籠城戦の歴史を有する

舞鶴を新たに加えることで、
「都市➡山・里➡海」のグラデーションが完成

都市

■「食の都大阪」

北前船に育まれた「昆布をベースとする出汁(だし)文化」や「目の前で　調理する割烹」、良質かつ新鮮な食材に恵まれた地の利に加え、諸国の台所　として長きにわたり市場流通の拠点を担う。

山・里

■「食の聖地 丹波篠山」

黒枝豆・黒豆、丹波栗、丹波篠山米、丹波篠山発祥のぼたん鍋、丹波篠　山牛、山の芋などブランド産品が育つ。

■「食の源流 能勢」

能勢栗（丹波栗文化圏の南端）、原木しいたけ、ジビエなど、里山　に　育まれた京阪神の食の源流

海

■「食の交易港 舞鶴」

日本海側有数の漁場であり、若狭湾の天然の良港を有し、舞鶴かに、牡蠣、都まぐろ、京鰆を有し、港町文化や海軍遺産が根付く。